

府民参加型公共事業委員会開催結果

日時 令和元年8月8日（木） 13:30～16:30

場所 ホテルルビノ京都堀川 ひえいの間

委員

舞鶴工業高等専門学校教授	玉田	かずや	和也（座長）
京都府立大学公共政策学部教授	川勝	たけし	健志
京丹後市建設部国府調整理事	中西	かずよし	和義
京都府立大学大学院助教	三好	いわお	岩生
NPO 法入人と自然とまちづくりと理事長	横山	あおい	葵
井手町理事兼総務課長	脇本	かずひろ	和弘

傍聴者 なし

1 座長

玉田委員を座長に選出することについて、委員会の了承を得た。

2 議事

<第1部>

（1）府民協働型インフラ保全事業について

- ① 事業制度について
- ② 平成30年度事業の概要について
- ③ アンケート調査について
- ④ 質疑応答・意見交換

<第2部>

（2）地域主導型公共事業について

- ① 事業制度について
- ② 過年度完成報告済箇所現況報告、質疑応答
 - 1) 大原うぶやの里活性化推進協議会
- ③ 完成箇所（5箇所）報告、質疑応答
 - 1) 京丹後花いっぱい運動推進検討会 弥栄町区長連絡協議会
 - 2) 福知山観光協会大江支部
 - 3) 伊根浦舟屋群等保存会、伊根地区区長協議会
 - 4) 井手町ふるさとガイドボランティアの会、井手町区長会
 - 5) 大呂自治会

3 主な委員意見

(1) 府民協働型インフラ保全事業について

- ・ペーパーレスが当たり前の時代、提案方法のさらなる簡略化が望まれる。
- ・府民向けのガイドラインがあっても良いのではないか。
- ・提案箇所をデータベース化し、優先順位の明確化に活用してはどうか。
- ・不採択結果は、文書や言葉で伝えることは難しさがああり、伝えきれない。日常のコミュニケーションや関わりの機会を増やすことが大事。
- ・不採択案件は、別の方策、運用による課題解決策がないか検討することが必要。

(2) 地域主導型公共事業について

完成済現況報告 提案者：大原うぶやの里活性化推進協議会（福知山市^④採択）

■提案概要

国道、河川によって分断されている歴史的文化的資源を安心して周遊できるコースを整備し、観光面での集客能力の向上を図る。

■委員意見

- ・ハードとソフトを連携しながらの事業展開ができており、非常に評価できる。
- ・学生さん達の力を借りてSNSで地域の魅力を伝え、一層工夫を続けてほしい。

完成報告 提案者：京丹後花いっぱい運動推進検討会 弥栄町区長連絡協議会
（京丹後市^⑤採択）

■提案概要

国道や府道に花の名所をつくりあげ、おもてなしの心で既存の観光資源の拡大を図る。

■委員意見

- ・地域住民の方々と府・市が連携しながら地域への愛着が生まれていることは非常に良い。
- ・今後も地域の方々が積極的に末永く活動が継続できる基盤の構築に努力いただきたい。

完成報告 提案者：福知山観光協会大江支部（福知山市^⑥採択）

■提案概要

府道綾部大江宮津線の歩道や見通しの悪いカーブの改良などにより、国定公園の大江山での観光コースの安全性を確保し、市のイベント実施や地域のボランティアガイドラインなどの活動を組み合わせて大江山と周辺地域の魅力の向上を図る。

■委員意見

- ・ハード整備に上手くソフト事業を組み合わせ、観光事業として活性化しつつあるが、次の展開として年間を通じた賑わいが期待される。
- ・地域高齢化の中で人の確保の難しさがあると思うが、せっかく手がけられた取り組みが継続できるようにスタッフ側に対しての取り組みも重要である。

完成報告 提案者：伊根浦舟屋群等保存会、伊根地区区長協議会（伊根町^⑥採択）

■提案概要

伊根浦伝統的建造物群保存地区内において、府道伊根港線の修景舗装等の整備を実施し、

町道の景観整備と地域の美化活動や舟屋群のPR活動などを組み合わせて地域の活性化を図る。

■委員意見

- ・訪問者にとって、町歩きとそのプロセスでの地元住民の方々との交流が生まれやすい空間作りがもっとできると良い。
- ・観光局の動線のモデルを掲示できれば、さらに施設の有効な利活用ができるのでは。
- ・地域の人達が地域に住み続けられるように産業が起こるような取り組みが重要。

完成済現況報告 提案者：井手町ふるさとガイドボランティアの会、井手町区長会
(井手町⑦採択)

■提案概要

歩道の景観整備等による観光利用の促進・安心安全な通学路整備

■委員意見

- ・単なる「道」の整備だけでなく、観光等での拠点の整備が望まれる。
- ・魅力的な取り組みは、取り組む側の思いだけでは、なかなか良い結果を得ることができないので、マーケットを調査し、市場を理解して取り組まれてはどうか。
- ・自然の豊かさを活かしつつ、まちの活性化や安全・安心のための整備を府と連携しつつ、今後も交流人口や定住人口の増加を目指して取り組んでほしい。

完成済現況報告 提案者：大呂自治会（福知山市⑦採択）

■提案概要

ロードパークと歩道の整備による周辺施設の利用促進・安全確保

■委員意見

- ・ハード整備だけでなく、その整備を通じて新しい事業が生まれたり、関わりを持つ人が増えてきたりしているのが、地域の活動から出てきている。そのことが地域の活性化に結びついていけばと期待している。
- ・地域の魅力を新たに作り、宿泊者がこの地域にまた来たいと思う工夫が重要。

(3) 全体について

- ・府民参加型の公共事業をすることで課題は生まれるが、若い職員にとって得るものは多く、スキルアップにつながる。
- ・公共事業は造るのが目的ではなく、地域の課題解決が目的。府・市町村・地域が協力して課題解決を続けてほしい。
- ・地域の人々の提案で事業が行われ、ハード整備することによって人々の関係が生まれ、さらに新しい事業が生まれることから、この事業の意義は大きい。
- ・地域が府民協働・地域主導をいかに継続していけるかということは大きな課題である。
- ・景観が良くなり、非常に良い事業なので、今後も景観整備ができる事業に取り組むべき。